

23-09-27

列車と自動車の衝突事故を想定した総合復旧訓練を実施します

名古屋鉄道は、走行中の列車と踏切内に進入した自動車の衝突事故を想定した災害事故総合復旧訓練を、築港線 大江駅～東名古屋港駅間において10月3日に実施します。

この訓練は、事故列車にご乗車されているお客さまへのご案内・避難誘導や車両・施設の復旧作業の実践を通して、情報収集方法や復旧作業手順、現場の指揮命令系統などの確認と、災害や事故復旧時の部署間協力体制の確立を目的に毎年実施しており、今回で19回目です。

今回は走行中の列車が、踏切において遮断桿を突破して線路内に進入した自動車と衝突したケースを想定し、ご乗車のお客さまの避難誘導（線路上への降車補助）、損壊した列車の措置、線路・電気施設の復旧などの訓練を実施します。

また、今回は本年8月より導入した運転士用タブレットを用いて、現場の画像や動画を係員間で即座に共有できる当社専用の情報共有アプリ「M フォト」にて、被害状況の報告を行います。

当日は、高崎裕樹（たかさき・ひろき）取締役社長、鈴木清美（すずき・きよみ）取締役副社長執行役員・鉄道事業本部長をはじめ、駅や運転現場の係員、土木・車両・電気部門の係員など、約80人が現地にて同訓練に参加します。

詳細は下記のとおりです。

記

- 1 実施日 10月3日（火）
- 2 場所 築港線 大江駅～東名古屋港駅間
（名古屋市港区）
- 3 訓練時間 開始：13時00分 終了：14時30分
- 4 訓練内容 (1) 通報（列車無線による）
(2) 情報収集と指揮命令系統の確認
(3) 列車からの避難誘導
（着脱式車いす緊急避難装置「JINRIKI®QUICK」を使用）
(4) 事故車両の措置（連結器損傷の措置）
(5) 事故車両収容（救援列車による）
(6) 踏切遮断機の復旧
(7) レールボンド、軌道修正

※内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。



前回（2023年3月）実施の訓練の様子

以上